

# やさい週間情報(第15号)

平成29年7月21日(金)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	6,000~	6,000~	-	1本売り (2L・L) 498~398円	本県産中心に北海道産の販売。 販売単価が下がったことから、在庫も整理されてきている。太物についてはいまだ荷動きは鈍い中ではあるが、L級以下については荷動きも良くなりつつある。 京浜地区への出回り量は少ないものの、野菜全般に厳しい販売が続いており、量販店の売価は若干下がってはいるが、まだ平年程の注文数にはなっていない。相場については保合で推移する見込み。
		A3L	6,000~	6,000~			
		A2L	5,500~	5,500~			
		A L	5,000~4,800	5,000~4,800			
		A M	4,500~4,000	4,500~4,000			
		B4L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B3L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B2L	4,700~4,500	4,700~4,500			
		B L	4,300~	4,300~			
		B M	4,000~	4,000~			
		C2L	4,400~4,200	4,400~4,200			
C L	4,000~3,800	4,000~3,800					
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,800~6,500	6,200~6,000	多い	1本売り 598~498円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 消費地の気温も高くなり需要期に入っているものの、転送品の出回りや、入荷比率の高い太物を中心とした荷動きの悪さから流通在庫が多く、厳しい販売が続いている。 来週については、にんじんの選果作業等で出荷量が調整されるものの、特売も少なく限られた売場の中での販売が続くうえ、品質の懸念も抱えており荷動きが鈍い状況は続くと思われる。
		A3L	6,800~6,500	6,200~6,000			
		A2L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		A L	5,200	5,200			
		A M	4,600~4,200	4,600~4,200			
		B4L	6,200~6,000	5,700~5,000			
		B3L	6,200~6,000	5,700~5,000			
		B2L	5,700~5,500	5,700~5,500			
		B L	4,700	4,700			
		B M	4,400~4,000	4,400~4,000			
		C2L	4,700~4,600	4,600~4,500			
C L	4,300~4,200	4,200~4,000					

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L	6,000～	6,000～		カット 78～98円/100g	<p>北海道産を中心に本県産の販売。</p> <p>北海道産・本県産ともに入荷量は少ないものの、末端売価が高く、特に太物を中心に荷動きが活発でない状態が続いている。また、北海道産・本県産を問わず、直荷の価格を下回る転送品が非常に多く、価格形成が難しい状況となっている。</p> <p>来週についても、入荷量は少ないものの、需要は回復しきらず、価格は弱保合となる見込み。</p>
		A3L	6,000～	6,000～			
		A2L	5,500～5,300	5,500～5,300			
		A L	5,000～4,800	5,000～4,800			
		B4L	5,200～5,000	5,200～5,000			
		B3L	5,200～5,000	5,200～5,000			
		B2L	4,700～4,500	4,700～4,500			
		B L	4,300～	4,300～			
		C2L	4,400～4,200	4,400～4,200			
		C L	4,000～3,800	4,000～3,800			
九州	本県産	A4L	6,800～6,500	6,800～6,500		カット 100g 98～88円	<p>北部九州がまだ梅雨明けとなっていないが、猛暑日が続いており、野菜全般に安値基調な中、ながいもの引合いも弱く価格は弱保合で推移している。</p> <p>現状、入荷量は多くないが売価高の影響が大きく、量販店の売り場スペースが拡張されていないことに加え、カットの大きさを抑えた販売となっている。</p> <p>来週も入荷量は少なく、また、連日の高温となることが予想されているが、売価高に伴う消費の鈍さが懸念され、価格は現状を保ったまま推移すると思われる。</p>
		A3L	6,800～6,500	6,800～6,500			
		A2L	6,300～6,000	6,300～6,000			
		A L	5,500～5,200	5,500～5,200			
		B4L	5,800～5,500	5,800～5,500			
		B3L	5,800～5,500	5,800～5,500			
		B2L	5,300～5,000	5,300～5,000			
		B L	4,800～4,500	4,800～4,500			
		C2L	4,300～4,000	4,300～4,000			
		東北	本県産 北海道産	A4L			
A3L	6,200～6,000			6,200～6,000			
A2L	6,000～5,500			6,000～5,500			
A L	5,000～			5,000～			
B4L	5,500～5,000			5,500～5,000			
B3L	5,500～5,000			5,500～5,000			
B2L	4,800～4,500			4,800～4,500			
B L	4,500～4,300			4,500～4,300			
C2L	4,200～4,000			4,200～4,000			
C L	4,000～3,800			4,000～3,800			

品名 に ん に く

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 香川県産	A 2 L A L A M 秀 3 L 秀 2 L 秀 L	2,200~2,000 2,000~1,800 1,800~ 1,600~ 1,600~ 1,400~	2,200~2,000 2,000~1,800 1,800~ 1,600~1,500 1,600~1,500 1,400~1,200	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 ス <sup>パ</sup> イ産 1 P 158~98 円	西南暖地産の乾燥品中心の販売となっている。 香川県産については、乾燥品の出荷が終盤となっており、総体量の少なさから引合いは強い状態が続いている。 来週について本県産の乾燥品も徐々に増量となるが、本県産への切替が進み、来週以降は本県産中心の販売となる。 事前の情報通り 2 L 級については発生が少ないが、M 級については発生も多いため、売込み強化を図る。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,200~2,000 2,200~2,000 2,000~1,800 2,000~1,800 1,800 1,800	2,200~2,000 2,200~2,000 2,000~1,800 2,000~1,800 1,800 1,800	なし	L 1 P 258~198 円	29 年産乾燥品の販売が始まった中、総体量の少なさから引合いは強く、堅調な販売となった。 来週についても、入荷は少ない見込みから保合での販売が見込まれる。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~2,300 2,300~ 2,000~	2,300~ 2,300~ 2,000~		L 1 P 298 円	本県産の生品の販売。 乾燥品の販売が開始されたものの、流通量が少ないため引合いは強いままで、堅調な販売で推移した。 来週についても、各社に行き渡る数量ではないことから同様の傾向は続き、引続き堅調な販売となる見込み。
東北	本県産	(乾燥) A 2 L A L	2,300~2,000 2,100~2,000	2,300~2,000 2,100~2,000	なし	L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 乾燥品の販売が開始となっており、28 年産の在庫も少ないことから、市況は堅調な推移となっている。 来週についても、引続き入荷量の少ない乾燥品は保合での販売となる見込み。

## 品名 きぬさや

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
名古屋	本県産 岩手産 北海道産	A L A M	2,000~1,800 2,200~2,000	2,000~1,800 2,200~2,000	なし		本県・北海道産中心の販売となっている。 本県産終盤の中、北海道産中心に安価で出回っているものの、入荷の少ない良品物については安定した販売となった。 本県産はほぼ終了となるものの、価格については概ね保合での販売となる見込み。

## 品名 だいこん No. 1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 北海道産	A 2 L A L	600~ 500 700~ 600	600~ 500 700~ 600	—	1本 198~178円  ハーフカット 98円	本県産、北海道産中心の販売となっている。 先週までは北海道産の品質が非常に悪く、軟腐や変色が散見されていた。今週から圃場も変わってきたことから、品質も安定し、L中心の入荷となったことから幾分入荷量は落ち着いているが、他重量品目同様に荷動きは鈍い。 来週について、北海道産は順調に入荷見込みであることから、相場は弱保合で推移する見込み。
名古屋	本県産 静岡県産 北海道産	A 2 L A L	800~600 900~700	800~600 900~700		1本売り 198~158円	本県産北海道産中心の販売となっている。 北海道産の入荷が徐々に増えてきていることから、価格は下げ基調で推移した。 来週についても、引続き北海道産等の潤沢な入荷が続き、売場も北海道産中心となることから弱めの販売が見込まれる。
大阪	北海道産 本県産	A 2 L A L	800~ 900~	800~ 900~		L 1本 138円  ハーフ 73円	北海道産・本県産の販売。 本県産が減少しているため、入荷量は少ないものの、他のやさい同様、末端消費は鈍い状況となっており、価格は弱保合での推移となった。 来週以降についても、同じ傾向は続き、価格は弱保合で推移する見込み。

品名 だいこん No. 2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	平場 A 2 L	700～ 600	700～ 600	—		本県産中心の販売。 東北市場については、本県産中心の販売となっているものの、北海道産の出回り量が多く市況は弱保合推移となった。
		A L	800～ 700	800～ 700			
		高冷地 A 2 L	1,000～ 900	1,000～ 900			来週についても、入荷量は変わらないものの、荷動きは鈍く、市況は弱保合推移の見込み。
		A L	1,200～ 1,100	1,200～ 1,100			

品名 こかぶ No. 1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L	800～ 700	800～ 700			本県産中心の販売。 千葉県産の入荷も減少し、売場は本県産へとシフトしている。しかし、本県産の入荷もピークを迎えており、荷動きは鈍い。
		A L	800～ 700	800～ 700			
名古屋	本県産	A 3 L	750～700	750～700			本県産中心の販売となっている。 安価な転送品に加え、学校給食等の需要が少なくなったことから、荷動きは鈍化しており、弱保合での販売となっている。
		A 2 L	700～700	750～700			
大阪	本県産	A 3 L	700～	700～			本県産中心の販売。 産地および消費地での気温上昇に伴い、葉の黄変や玉のトロケが見え始めており、価格は弱保合での推移となった。
		A 2 L	1,000～ 800	1,000～ 800			
		A L	800～	800～			

品名 こ か ぶ No. 2

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A2L AL	800~700 800~700	800~700 800~700			<p>本県産中心の販売。 安定した入荷が続いているなかで、荷動きの鈍さから市況は下げ基調で推移している。 来週についても入荷量は大きく変わらない見込みとなっており、弱保合で推移する見込み。</p>

品名 トマト

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	AL AM AS	1,000~800 1,200~800 1,200~800	1,000~800 1,000~800 1,000~800			<p>関東近在産、東北産中心の販売となっている。 海の日連休を境に各東北産地の入荷が一気に増量となったことに加えて、これまで売り込んでいた大玉からM級へと玉流れが変化したことから、MS級の販売が苦戦している。加えて、各東北産が高温の影響から軟果や色上がりの悪い玉が多い状況となっており、品質クレームが散見されていることも販売環境の悪さに輪をかけている。 来週について、量販店の売価設定は幾分下がっているが、各産地の入荷が多い状況は変わらず、非常に厳しい販売状況が見込まれる。</p>

品名 ミニトマト

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	パック AL AM 3kgバラ	130~120 140~130 1,800~	120~ 130~ 1,800~			<p>東北産、関東近在産中心の販売。 関東近在産は出荷ピークを過ぎており品質不良も散見されているため、東北産地への切替が進んでいる。今週についても東北各産地は増量傾向で、業務需要が減退していることから、販売苦戦となった。 次週についても、引続き東北各産地の増量から価格については弱含みの相場展開が見込まれる。</p>

品名 きゅうり

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	1,600~1,400	1,500~			<p>関東近在産中心に福島県産の販売となっている。</p> <p>海の日連休前に堅調な相場で推移したことから、量販店の注文が微減となったことに加えて、東北各産地が数量増となったことから、相場は弱含みで推移した。</p> <p>来週についても、引き続き東北産が増量の見込みから、相場は含みでの販売となる見込だが、販売拡大を図る。</p>

品名 にんじん No. 1

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	関東近在産 本県産	本県産 A L A M 千葉県産 (予冷) A L A M	本県産 1,000~ 900 1,200~1,000  800~700 1,000~900	本県産 1,000~ 900 1,200~1,000  800~700 1,000~900		L3P 158~148円 M3P 148~128円	<p>本県産および北海道産函館地区中心の販売。</p> <p>千葉県産については、出荷終盤で少量の入荷。北海道産については、函館地区の出荷は概ね7/20前後で出荷終了となる見込みだが、後続の富良野・美幌が7/24週からの出荷となることから、切れ目のない入荷が見込まれる。</p> <p>来週について、本県産の入荷量は微減だが、業務需要が減退しており、相場は弱保合で推移する見込み。</p>
名古屋	青森県	A 2 L A L A M	900~ 700 1,000~ 800 1,000~ 900	900~ 700 1,000~ 900 1,000~ 900		L 3 P 198円 M 3 P 158円	<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>本県産については、週前半は降雨の影響もあり出荷量が少なかったものの、後半はまとまった入荷となったうえ、品質の悪化もみられ、弱保合での販売となった。</p> <p>来週については、北海道の大型産地の増量が見込まれており、売場が切替わっていく見込み。特にM級が多い予想のため、Mについては弱めの販売が見込まれる。</p> <p>引続き、選果・選別および品質管理の徹底が肝要と思われる。</p>

品名 にんじん No. 2

大 阪	本 県 産 北 海 道 産	A 2 L A L A M	900～ 800 1,000～ 900 1,100～1,000	900～ 800 1,000～ 900 1,100～1,000		M 3 P 158 円  L 1 本 79 円	本県産・北海道産の販売。 末端消費が鈍いことと、仲卸在庫が溜まっていることから、入荷量は減っているにもかかわらず荷動きは鈍いまま で、価格についても弱保合で推移した。 来週後半には、北海道産が本格出荷となり、初出荷から まとまった数量になるとのことから、価格については弱含 み推移となる見込み。
九 州	本 県 産	A 2 L A L A M A S	1,100～1,000 1,100～1,000 1,100～1,000 1,000～900	1,100～1,000 1,100～1,000 1,100～1,000 1,000～900		3P/158 円	本県産の入荷量が降雨等により若干減となっているもの の、流通在庫が多く、また、連日の猛暑により煮炊きする 品目の荷動きが非常に鈍くなっている。 北海道産は来週末から入荷予定となっているが、本県産 は 8 月上旬まで入荷があることを各市場に周知しており、 量販店の売り場を本県産で確保し価格の維持に努める。
東 北	本 県 産	A L A M	1,000～800 1,000～800	1,000～800 1,000～800		A M 3P/158 円	本県産中心の販売。 本県産が潤沢な入荷となっており、荷動きも変わらず鈍 いことから、市況は弱保合推移となっている。 後続の北海道産については、今週末より入荷する市場も あり、来週についても、状況は変わらず厳しい販売が続く 予想。

品名 ばれいしょ No. 1

事務所	主 力 地	主 力 等 級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫 状 況	小売り 状 況	販 売 状 況
名古屋	本県産 静岡県産	A 2 L A L  A 2 L A L	メーク 1,600～1,500 1,500～1,400 きたあかり 1,500～1,300 1,500～1,300	メーク 1,400～1,300 1,300～1,200 きたあかり 1,300～1,100 1,300～1,100			本県産・静岡県産中心の販売となっている。 気温高による末端消費の鈍さや関東産の安価な転送品の 出回りなどから、流通在庫が多く下げ基調での販売となっ た。 来週については、本県産の増量が見込まれるが、今週同 様に消費の鈍さや北海道産の入荷増から厳しい販売が続く 見込み。



品名 ば れ い しよNo. 2

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 千葉県産 静岡県産	メイクイン					本県産中心に千葉県産・静岡県産・北海道産の販売。 全体的に荷動きは悪く、前段産地が小玉傾向であるため、特にM級以下の販売が苦戦している。ただ、前段産地の入荷に目途が立ち、販売の中心は本県産に切替っている。また、北海道産は道南地区の業者物のメイクインが少量入荷されているのみで、本格的な入荷は8月上旬になると見込み。 来週についても、価格は保合での推移となる見込み。
		A 2 L	1,500~	1,200~			
		A L	1,500~1,300	1,500~1,300			
		A M	1,200~1,100	1,200~1,100			
		丸系					
		A 2 L	1,500~	1,500~			
A L	1,500~1,300	1,500~1,300					
A M	800~	800~					

品名 ピーマン

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	関東近在産 本県産	バラ					東北各産地中心の販売。 これまで生育が遅れていた東北各県産の出荷が、気温上昇とともに出荷量も増え、日々相場を下げながらの販売となった。 来週についても、引続き各産地潤沢な入荷が見込まれ、次週も下げ基調の相場展開となる見込み。
		A L	1,100~1,000	1,000~800			
		A M	1,300~1,200	1,200~800			
大阪	本県産 兵庫県産 宮崎県産	袋	60~55	55~45			本県産中心に兵庫県産・宮崎県産（夏秋）の販売。 産地での気温上昇に伴い、果菜類は各産地とも一斉に増量しており、ピーマンは増量が鈍いものの、他の果菜類同様、荷動きは良くない。 現在、バラ・袋を問わず売込みを掛けているところだが、入荷量は増量する見通しから、価格は下押し傾向となる見込み。
		A L	1,200~	1,200~			
		150g 袋	60~	60~			
東北	本県産 東北産	バラ					本県産・東北産の販売となっている。 各産地、気温の上昇から入荷量は日々増量しており、市況は弱含み推移となっている。 来週についても、東北産地の入荷量は増量となることから、厳しい販売が続く見込み。
		A L	1,200~	1,200~	増		
		袋	80~70	80~70			
		A L					

品名 露地ねぎ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L	2,000~1,800 2,200~2,000	1,800~1,600 2,000~1,800			<p>関東近在産、東北各産地中心の販売。                      関東近在産のトンネル物が終了し、露地物へと切り替わった。東北産、北海道産も出荷開始となり、徐々に総体量も増量傾向にある。これまで関東近在産が干ばつの影響で細物中心の販売だったものの、東北産地は2L級の比率も高いうえに、給食需要への供給もなくなり、2L級中心に厳しい販売となっている。                      次週について、東北各産地の入荷も増量することから、弱含みでの販売見込み。</p>
	関東近在産	A L	1,500~1,200	1,200~			